

令和2年度のスタートに当たり

藤巻町自治会長 池田 章一郎

皆様ご存じの通り、新型コロナウイルスによる感染予防のため、三密を避けるために残念ながら平成31年/令和元年度の藤巻町自治会総会を、皆様に集まって質疑応答をする形での開催が出来ず、賛否投票形式を取らざるを得なかったことをお詫びいたします。

令和2年度も藤巻町には問題が山積みの状態です。住民の平均年齢が若い名東区、とりわけ西山学区、において藤巻町の高齢化率は突出しています。東南海地震が危惧されており、温暖化による異常気象も頻発しています。それらに対応する、みまもり隊、自主防災会の再編が必要です。

また、総会議題4にも書きましたが、私道問題、それに由来するインフラ未整備問題、東山公園緑地の都市計画の見直しによる削除検討地域説明会においては藤巻町の北部地域のみ対象にしたために、非削除の藤巻町南部地域、特に14・15組において理解不足が生じたものと思われます。このようなことは藤巻町の分断を招きかねません、したがって非削除区域に対する、より細かな対応と説明会を開催し理解を深めるとともに、町全体として緑と共存するまち“藤巻のさと”を目指し、将来の「オアシスの森事業」・「建築協定」・「緑地管理組合」的なものに発展させる基礎を着実に築いていきます。このためにもボランティア活動による未整備道路の維持管理活動への資材提供（資金援助）も活発に行いたいと思います。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上